

令和元年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019003

プロジェクト名 Nihon Technology Students Association

プロジェクトの概要

Nihon Technology Students Association（以下 NTSA）の活動目的は「学生の貴方へエンジニアとしての初めの一步を」にあります。「エンジニアとしての初めの一步」とは、大学のキャリアセンターなどでは知ることの出来ない「エンジニアの生き方」を知る機会を提供しようというものです。勉強会や講演などは学生には心理的・金銭的に難易度が高いことがあります。

「日大生に限らない全ての学生に、安価で入りやすい”初めの一步”の場を提供する」このことを軸として活動をしました。

プロジェクトの結果・成果

NTSA では全 3 回の活動为目标とし、計画立案をしました。第 1 回活動「AI を使ってラジコン Car を自動運転させてみよう！Hand-On -ラジコンカーで学ぶ自動運転と機械学習-」12 月 21 日。講師に株式会社 Fabo から 佐々木 陽 氏をお呼びし、石油・電気に次ぐ産業革命技術とも言われる機械学習(AI)について、また AI を利用した自動運転について実際に作ってみるハンズオンを開催しました。佐々木氏に AI と自動運転について講義いただいたのち、参加者は教わりながら自動運転 AI を作成し、自動運転ラジコンカーの競争を行いました。第 2 回活動「What's up! SILICON VALLEY」1 月 25 日。「エンジニアの聖地」と呼ばれ、google や Apple などの企業の本社があるシリコンバレー、多くのイノベーションが此処から生まれたと呼ばれる場所です。現地 NPO 法人の JTPA と共催し、シリコンバレーの第一線で研究開発をされている Jin Yamanaka 氏、起業経験のある Noriyuki Ken Okada 氏、留学生生活をされている Takumi Ueda 氏にオンラインにて講演をして頂きました。研究エンジニアとはなにか、ソフトウェアエンジニアとしてのシリコンバレー、シリコンバレーの学生生活などを講演頂き、積極的な意見討論が行われました。第 3 回活動「モバイルアプリ開発ハッカソン合宿 NU CAMP」3 月 15 日 中止。「Ionic で作るモバイルアプリ作成入門」の著者であり、「女友達をつくる女性専用ソーシャルサービス tipsys」を開発運営されている 榊原 昌彦 氏をお呼びし、2 泊 3 日の合宿型ハッカソンイベントを開催予定でした。参加人数は 22 名を超える NTSA の総決算的イベントの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による山中湖セミナーハウスの閉鎖及び感染拡大を防止するため、開催中止となりました。全 3 回活動の総括としては、多くの学生が実際に「初めの一步」を踏み出せたと考えています。2 回の活動で学部外・大学外からの参加者を含め 20 名以上の参加者がありました。

活動写真

